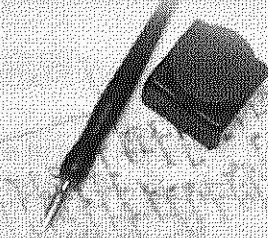


校長のひとり言



NHK高校講座

11月末に東京都渋谷区のNHK放送センターで、平成27年度NHK高校講座の年間放送計画や新作・新番組等について提言・要望を伝える会議に出席した。

通信制課程に学ぶ生徒が利用するテレビ番組とラジオ番組は、多くの関係者により制作され放送視聴学習として放送されていることがよくわかった。ちなみに、平成27年度の新設番組・新作番組は、テレビで「世界史」、「科学と人間生活」、「ビジネス基礎」、「数学Ⅰ」、「ベーシック数学」、「芸術・書道」、「ロンリのちから」。ラジオでは「現代文」、「古典」、「コミュニケーション英語Ⅲ」である。

現在は、テレビやラジオ以外に、スマートホンやタブレット端末を利用しインターネットによる視聴・聴取できるようになっている。スマートホンによる利用は、1か月50万件を越すアクセス数だそうだ。

本校でも放送視聴学習として、NHK「高校講座」の視聴による面接時間数の一部を免除する制度を取り入れている。テレビ講座・ラジオ講座とも同一講座を2回分を視聴し、学習効果があったと認定されたとき、1時間の面接時間数を免除している。(1回分あたり0.5時間)詳細は、学習のてびきを再読し活用しよう。

突然ですが、私は初めてNHK放送センターの施設内に入った。案内状の会議場所は、VIP会議室とあったのでワクワクしながら正面玄関に到着した。しかし、12月の衆議院選挙の放送関係で使用できないため会場変更となっていた。会議場所は隣接するNHKホール地下2階のリハーサル室である。(NHKホールは大晦日に生放送される紅白歌合戦の会場である。)

VIP会議室レベルの部屋でなくても別の会議室があるだろうと思いながら、窓のないリハーサル室を眺めていた。会議の冒頭にNHK担当者から会場変更のお詫びとリハーサル室のお話をされた。この部屋は、紅白歌合戦に出演する「AKB48」のリハーサル室と説明され、「だから自慢してください。」ですかと思い、私は失笑してしまった。

歌

[故郷]

- 1 兎追ひし彼の山
小鮒釣りし彼の川
夢は今も巡りて
忘れ難き故郷

- 2 如何にいます父母
恙無しや友がき
雨に風につけても
思ひ出づる故郷

- 3 志を果たして
いつの日か歸らん
山は青き故郷
水は清き故郷



ある講演会で講師の先生が、最後に全員で合唱しましょうと提案され歌った。
ご存知の文部省唱歌を代表する曲として今日も歌われている。
なぜかわからないが、歌いながらうるっときた。

作詞家の達人たちは、1曲の詞を書くために言葉を巧みに操り、その時代を象徴する言葉を探す。(「歌は世につれ、世は歌につれ」ですかね。)

曲名「あとひとつ」の一部 ファンモンより

「そう簡単じゃないからこそ夢はこんなに輝くんだと そうあの日の言葉今でも胸に抱きしめているよ あと一粒の涙でひと言の勇気で願いがかなうその時が来るって 僕は信じてるから君もあきらめないでいて 何度でもこの両手をあの空へのばしてあの空へ」とある。作詞家は言葉の魔術師であると思う。この詞にメロディーがつくとより心に沁みるのである。

歌の中のストーリーやほんの数秒のワンフレーズが何ものにも負けないエネルギーで、私たちの心に訴えかけ感情を揺さぶる。「魂のことば」があり、多くの人の心を動かしている。勇気や自信が湧いてくる。「歌ってすごい力があるなあ」と思う。